

施設の短期中期のサービス向上への取り組み

1. ルール、手順に基づく業務管理の徹底、定着をはかる
  - (1)年度収支目標の達成を目指す
    - ① 各事業の稼働率等月次状況を確認し、年度予算を達成する
    - ② 介護報酬改定を踏まえ、加算を取得しサービスの質の向上を目指す
  - (2)業務管理の徹底を図る
    - ① 26年度の業務管理を基盤に、制度に基づく業務を日々確実に遂行する
    - ② 職員・管理者・推進者の役割を明確にし、その役割を確実に担う
    - ③ 法令遵守に基づき家族支援システムを活用する
    - ④ 法令遵守会議を開催する（四半期毎に運営会議にて）
2. 各事業、施設としてのサービスの向上に努める
  - (1)ひとりひとりのご利用者の「よかった」「安心した」「満足した」を目指す
    - ① 人間の生活の基本である「快食」「快便」「快眠」を目標に、その方にとっての「快」を更に追求し、質の向上に取り組む
  - (2)地域の高齢者が安心、安全に暮らせるために連雀と連携を高める
    - ① 地域ニーズおよび区の第6期計画踏まえ、神田地区における事業の再編成を検討していく
    - ② 地域包括ケアに向け、総合事業に対応するとともに、ケアハウスやグループホームの利用者が安心して暮らせるよう、あんしんセンターを軸に関係機関との連携を深める
3. 適切な組織体制の維持
  - (1)職員個々の責務を明確にし、確実に担えるスキルアップを図る。また事業を束ねて館としてのパワーを発揮する。
    - ① 法人研修に計画的に参加し、個々のスキルアップを図る。
    - ② 各事業、部署の連携を更に高め、複合施設としての利点を活用するとともに、職員相互が支えあえる強い組織集団をつくり、離職0を目指す。
4. リスク管理
  - (1)安心かつ安全な館を維持する
    - ① 「火災」および自然災害（「地震」「大雨」「大雪」「台風」等）テーマ毎の職員の初動を訓練する、また連雀との相互応援体制を検討する。
    - ② 衛生管理の徹底を図る—感染症対策を徹底する  
万が一の発生の場合、迅速かつ的確に対応する
5. 建物管理
  - (1)日々の点検を推進するとともに短中期での計画を策定する
    - ① 日々の点検、状況把握に努め、劣化をあらかじめ考慮し計画する
    - ② 区との協議を踏まえ、短中期のメンテナンスを計画する

施設の取組

1. 第三者評価等の利用者の声やサービス自己評価の課題を踏まえ、利用者、家族に満足いただけるサービスを提供する
2. 各職員が個々の事業の運営と必要最低限の他部署の情報を共有し、補完しあい複合施設としてのメリットを活用する
3. 区立施設の特性を生かし、地域の高齢者はもとより近隣子ども施設との交流も深め、地域での世代を超えた交流の場とする
4. 28年1月開設予定の千代田区高齢者サポートセンターおよびかんだ連雀と連携し、千代田区の地域包括ケアシステムでの岩本町ほほえみプラザの位置を確認し、対応していく